



# 「このドアをあけたら」展

# with 村上慧

# 展

with

# 村上

# 慧



2021年2月9日(火) — 3月21日(日)

(休館日：2月15日、22日、3月1日、8日、15日)

山梨県立美術館 ギャラリー・エコー / 午前9:00～午後5:00

観覧無料

ドアノブ採集ワークショップを一挙公開！



種をまく 世界がひらく

山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art

# みなび2020



# with 村上慧

「みんなでつくる美術館(みなび)」とは、  
も、アーティストも、一般の人も、誰もが  
みながらつくり上げる参加型展覧会。2002(平成14)年から毎年展開し、今年度で19回目となりました。

大人も子どもも、障がいのある人もない人  
自由に参加して、ワークショップなどを楽し

今年は、昨年度に引き続きメインゲストに美術家の村上慧氏を迎えて、初めてウェブ上で開催しました。テーマは「自分の家を見てみよう!」。お家でできるワークショップとして、『ドアノブ採集ワークショップ on the Web「このドアをあけたら」』を実施しました。家のドアを開けて出かける機会が減り、家で過ごす時間が増えた今年、あらためて自分の家をよく見てみた人が多いと思います。人間はドアを開ける動物です。ドアの先に何があるのか、何があって欲しいのか。本展では、美術館に寄せられたワークショップの画像を一挙公開。なぜこのワークショップに至ったかなど村上氏のメッセージや、この期間に村上氏が制作した作品なども紹介いたします。

ドアノブ採集ワークショップ on the Web

「このドアをあけたら」



みなび Instagram



みなびウェブサイト

関連  
企画

## 雨宮国広 × 村上慧 トークショー

いしらの  
石斧でつくる家と発泡スチロールでつくる家、それぞれの家について

縄文時代の知恵を実践している山梨県出身の「縄文大工」・建築家の雨宮氏と、「移住を生活する」プロジェクトの美術家の村上氏が、生きること、つくることについてお話しします。

日時 2月9日(火) 午後1:30~

場所 講堂

定員 40名 聴講無料・要申込

申込期間 1月9日(土)~2月7日(日) 定員になり次第締切

申込方法 電話またはFAX

電話:055-228-3322

FAX:055-228-3324

※トークショーの様子は後日ホームページで公開します



雨宮国広  
あめみやくにひろ

1969年山梨県出身。縄文大工、建築家。丸木の皮むきのアルバイトをきっかけに、大工の道へ進む。2009年に石斧と出会い、能登半島の真脇遺跡で縄文住居の復元に携わる。その後、国立科学博物館の日本人のルーツをたどる「3万年前の航海徹底再現プロジェクト」では、台湾から与那国島へ渡る丸木舟を制作した。現在は手道具のみで自作した小屋に住む。



村上慧  
むらかみさとし

2011年武蔵野美術大学建築学科卒業。2014年より自作した発泡スチロール製の家に住む「移住を生活する」プロジェクトを始める。著書に「家をせおって歩く」(福音館書店/2019年)、『家をせおって歩いた」(夕書房/2017年)など。

テーマ  
ソング  
決定!

本年度はみなびテーマソングを募集しました。全国各地から、37名(グループ)、54楽曲の応募がありました。みんなでつくる美術館実行委員会で厳正なる審査を行い、以下の曲をみなびテーマソングとして採用いたしました。

楽曲タイトル「ドキドキワクワクみなび」 作詞・作曲 Childhood (山梨県)

Childhood: 山梨県を中心に音楽活動を行っている3人グループ。ライブやコンサート、CDアルバムのリリース、CMソング制作、舞台・芝居の楽曲提供などの活動のほか、県内外の音楽イベント等で多くの賞を受け、高い評価を得ている。

★楽曲はホームページから聞くことができます。

フライヤーデザイン: 内田涼



種をまく 世界がひらく

山梨県立美術館

Yamanashi Prefectural Museum of Art

【お問合せ】 みんなでつくる美術館 実行委員会事務局

〒400-0065 甲府市貴川1-4-27 山梨県立美術館学芸課内 TEL: 055-228-3258 FAX: 055-228-3418